

# 趣 意 書

## 第 47 回全国児童・生徒木工工作コンクール

### テーマ 『ともに つくろう』

「木」は太古の昔より我々人間の生活と大きな関わりを持っています。数十年もの時間を掛けて成長する中で伐採期を迎えるまでは二酸化炭素を吸収し酸素に変え、生態系を維持する等、多面的な機能を担ってくれています。また伐採後に木材となった後も住宅をはじめとする我々の生活の多くを支えてくれています。

世界規模での SDG s 推進や、大きく取り上げられたウッドショックの影響。様々な業界がこれまで以上に「木」に注目しています。また、木材利用の新技术開発が日々進んでおり、従来使用されていなかった場所・物にも木材を利用する「木質化」も進められています。

私たち日本木材青壮年団体連合会では、子ども達の創造力を伸ばし、木をもっと身近なものにしてもらいたいとの思いから、長年に渡って全国児童・生徒木工工作コンクールを開催しています。一昨年より続くコロナ禍による制限下で生活様式が変わる中であっても、木と共に、また家族や学校の友達と共に楽しむ事を大切にしてもらいたい。そのような思いから、今年度の開催テーマは「ともに つくろう」とさせて頂きました。

木と一口に言っても、木には様々な樹種・色・硬さなどの特徴や部位があります。ただ木を使って何かを作るだけでなく、本コンクールの参加者の皆さんには、先生や友達、家族の皆さんとコミュニケーションを取る中で作品を考え、様々な「木」を用いて表現して貰う事も、大きな狙いの一つです。子ども達の自由な発想こそが「木の新たな可能性」の創造に繋がって行くのではないかと考えています。

また木工工作を通じて多くの子ども達が「木」に触れて、感受性や創造性に富んだ大人に成長してくれること、そして将来温もりある社会を築いてくれることを願い、家族、学校関係者、行政、木材関係者はもとより、子どもから大人まで多くの人を巻き込んで皆で「木」の可能性について考える端緒としていければと思います。

日本木材青壮年団体連合会  
令和4年度会長 川井 博貴  
副会長 吉田 勝利  
委員長 久保 光一郎

主催：日本木材青壮年団体連合会

後援：(継続申請中)

協賛：(継続申請中)

# 第47回全国児童・生徒木工工作コンクール実施要綱

## ●実施日程

一次審査	令和5年 1月11日(火)頃
最終審査	令和5年 3月5日(土)頃 開催場所：宮崎市
結果伝達	令和5年 3月24日(金)頃(予定)
表彰式	令和5年 6月3日(土) 表彰式会場：高知市

(※日本木材青壮年団体連合会 第68回 全国会員高知大会にて)

## ●審査委員

委員長	全国造形教育連盟
委員	行政関係者(継続申請予定)
	後援団体関係(継続申請予定)
	日本木青連・木育創造委員会 敬称略・順不同
	※その他 審査会実施地近郊等の造形教育に係る方を若干名。

## ●表彰

応募作品は、小学生低学年の部(1～4年)、小学生高学年の部(5,6年)、中学生の部(全学年)の3部門に分け、それぞれの優秀作品に対して下記の表彰を授与する(一部予定を含む)。グループにて申し込みの作品についてはグループ名とする。

各部門賞ごとに6～8点程度の表彰を予定する。

## ●応募部門

第1部門	小学校低学年(1～4年の児童)の部
第2部門	小学校高学年(5,6年の児童)の部
第3部門	中学校(全生徒)の部

**小・中学校の児童・生徒が在籍学校を通じて、個人またはグループでの応募とします。**

## ●応募期間

令和4年9月4日(予定)から令和4年12月12日(予定)まで

●応募詳細

全国児童・生徒木工工作コンクールは、各都道府県によって応募方法が異なります。

パターン① 木工工作コンクールを実施している都道府県の場合

都道府県単位での応募となります。

対象地域の木工工作コンクールでの優秀作品を、指定のエントリーシートにて応募します。

募集点数については、各都道府県、各部門2点ずつ総計6点とします。

(対応は各都道府県の日本木材青壮年団体連合会会員が行ないます)

パターン② 都道府県単位で木工工作コンクールを実施していない場合

各団体・学校単位での応募となります。

応募希望者が応募作品を、指定のエントリーシートにて各自応募します。

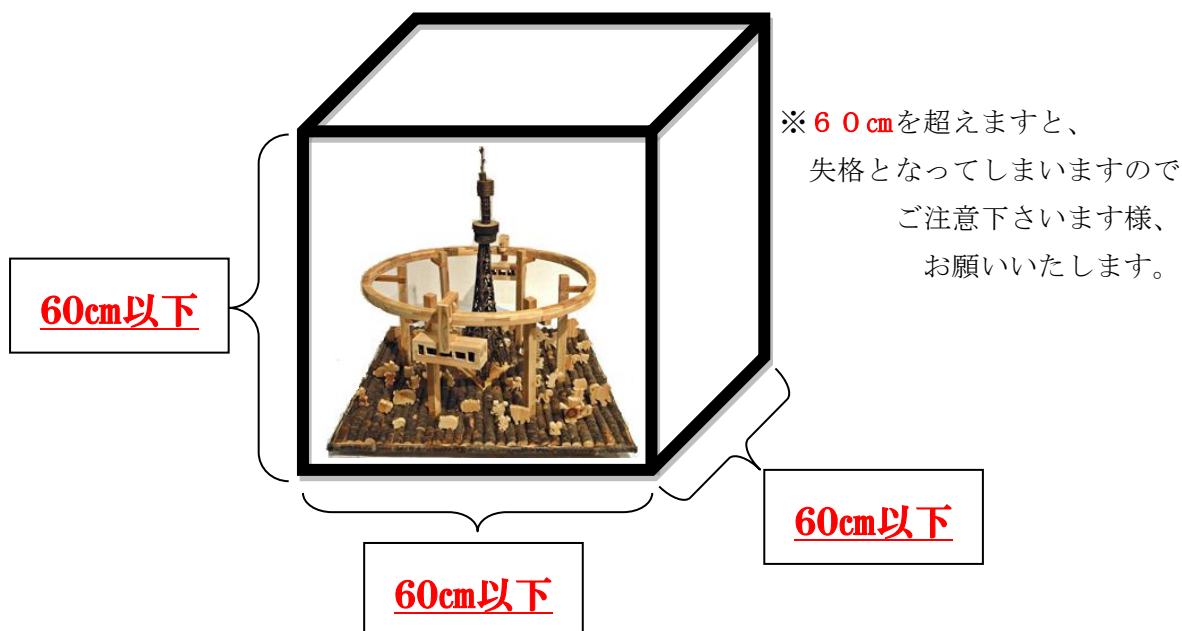
(対応は各団体・学校単位でお願い致します)

エントリーシートは日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページに用意いたします。各自でダウンロードして頂き、記入例に従って記入をお願いいたします。

●作品基準【重要】

- ・木材を主材料として利用・加工した創作品であること
- ・作品の大きさは縦・横・高さ・台を含めて**60cm**を超えないものであること  
下記は残念ながら審査対象外になります。ご注意ください。
  - ・ 梱包を含め**60cm**を超える作品
  - ・ 展開したり、広げて展示する作品で**60cm**を超える作品

※作品基準【図解】



## ※その他注意事項

《注1》作品の間違いを防ぐため、**作品写真**を添付して下さい。

**※写真は必ず5面（前・後・左・右・上）撮影ください。**

《注2》作品の発送をする際は、必ず梱包をした上で発送して下さい。また、作品が輸送で壊れないよう十分な緩衝剤（発泡系や新聞紙等）をお願いいたします。

《注3》梱包は必ず**1作品1梱包**ずつ別々をお願いいたします。

《注4》梱包済み作品を大型ケースに同梱した、コンテナ発送はご遠慮ください。

《注5》輸送時に破損する事故が多く発生しております。私たちも細心の注意を払ってご返送いたしておりますが、万が一破損した場合は大変恐縮ですが、ご容赦くださいますようお願いいたします。特にグルーガン等を使用した場合、特性上輸送時の衝撃で接着が剥がれやすいのでご注意ください。

## ●審査方法

審査については、全部で3段階の審査があります。

### 1. 各都道府県審査

各都道府県で開催される木工工作コンクールにて審査を行います。  
審査方法については各都道府県によって異なります。

### 2. 一次審査

各都道府県よりエントリーされた作品に対して、審査委員会がエントリーシートによる書類審査を行います。

一次審査を通過した作品については後日各学校にご連絡いたしますので、現物の提出をお願いいたします。送付先・時期については、当委員会より各会  
団もしくは各団体・学校へ連絡致します。（1月中旬を予定しています）

**※送付費用については、応募される各団体・学校の負担といたします。**

### 3. 最終審査

一次審査を通過した作品に対して、審査委員会が現物を確認し厳正に審査を行います。

## ●審査のポイント

今年度のコンクールのテーマは『ともに つくろう』です。

新型コロナウイルスの影響で、学校での活動や友達との交流の機会に大きな制限が続いています。そのような状況であっても、子どもたちに木と共に、友達や家族と共に楽しむという視点で、自由に表現して貰う事を目的としています。

木には樹種・色・木目など様々な部位や特徴があります。是非ともお友達や先生、家族で話し合う所から作品テーマを決めて頂きたいと思えます。「ともに」楽しみ、それを木材で表現する事にチャレンジして下さい。

本コンクールを通して、様々な人とコミュニケーションを取りながら作品を決定し、自由な発想で表現することを大切に考えております。子どもたちの「創造力」を審査会では大きく評価して参ります。

各学年に応じた技能や発想に留意し、下記の各項に基づき評価を致します。

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. 木の自然の良さや、適材の部位で表現されているか
4. デザイン・機能性が優れているか

●個人情報の取り扱いについて

- ・応募に際しご提供いただいた個人情報は、「全国児童・生徒木工工作コンクール」の業務運営のみに使用させていただきます。
- ・入選作品は、当団体広報誌、一般紙、Web サイト等で学校名、氏名、学年を含めて公開する場合があります。

●問い合わせ先

○日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 委員長 久保 光一郎  
〒885-0084 宮崎県都城市五十町 1388 番地  
久保産業株式会社内  
FAX : 0986-22-4470  
Mail : kou@kubo-sangyo.jp

※お問い合わせはメールか FAX にてお願いいたします。

○日本木材青壮年団体連合会 事務局  
〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14-102  
TEL 03-5620-4806 FAX 03-5620-4809

※こちらは受付のみとなります。ご返答は後日折り返しさせていただきます。

○各都道府県コンクール事務局

都道府県コンクール実施については令和 4 年 7 月中旬頃から 12 月上旬頃の間で、各都道府県において各県の会団が主催で行われます。

(詳細は日本木材青壮年団体連合会公式 Web サイト内の木工工作コンクール特設ページをご確認の上、コンクール実施県担当者一覧に記載されている各地域の担当者にお尋ね下さい)